



ハマの座談会コーナー



第1刑事部
開発礼子裁判官

第9民事部
長岡慶裁判官

第5刑事部
竹内久美子裁判官

團藤文士所長

司会: 本日はお集まりいただき、ありがとうございます。今回、小中高生の皆さんからたくさんの質問をいただきました。その中で、特に応募が多かった質問についてお話を聞かせていただきたいと思い、この座談会を企画しました。まず、「いつ頃から、なぜ裁判官になろうと思ったのか」について教えてください。

竹内: 私は、大学を卒業して総合電機メーカーに就職し、人事の仕事をしていましたが、労務管理に携わり、制度を運用する中で疑問に思うこと、もう少しこうすればいいのと思うところが出てきました。そこで、労働法について、一度しっかり勉強して専門的な知識をつけたいと思うようになり、司法試験を受験しました。でも、このときは、会社に戻って企業内弁護士という立場で仕事をしたいと思っていて、裁判官になろうとは思っていませんでした。

開発: いつ頃から裁判官を志すようになったんですか。

竹内: 司法試験に合格して、司法修習をする中ですね。司法修習では、弁護士、検察官、裁判官の仕事を経験するのですが、裁判官が一番、自分の正義感や倫理観に正直に仕事ができると強く思いました。また、生身の裁判官と接して、魅力的な人柄の裁判官が多く、職場の雰囲気自分が合っていると感じたことも理由の一つです。

長岡: 私も、裁判官になりたいと思ったのは、司法修習で裁判官の仕事に触れてからです。裁判官になる前は医者をやっていましたが、医療行政に興味を持つようになり、法律を勉強し始めました。司法試験の合格後は、行政機関などで医療行政に関わろうと思っていましたが、裁判官の仕事ぶりを見るうちに裁判官に興味を持ち、志すようになりました。

開発: 裁判官の仕事のどんなところに魅力を感じましたか。

長岡: まず、裁判官は、民事、刑事、家事、少年など色々な事案を担当するので、知識を広げることができるというところに、非常に大きな魅力を感じました。また、裁判官は自分の良心に従って独立した立場から、(合議体では3人ですが、)基本的には自分で判断することができることにも非常に魅力を感じました。

開発: 竹内さんのように弁護士になりたいと思ったことはありますか。

長岡: 弁護士は自由業ではありますが、実際には顧客との関係があったり、分野によっては仕事が細分化されていたりして、自由にやれないことも多いのかなと。

所長: 二人の話聞いてると、共感するところが多いですね。私は、自由というものに憧れて法律家を志し、最初は弁護士になろうと思っていました。しかし、憲法で裁判官の職権行使の独立が保障されていて、裁判官は憲法と法律に縛られる以外は、自分が正しいと思ったところから審理し判断することができ、それこそが自由なのではないかと思いついた、裁判官を志望した点で二人と同じと言えるでしょう。

司会: ありがとうございます。では次に「裁判官になって良かったこと、やりがいを感じることを教えてください。」

長岡: 私は民事部の裁判官ですが、和解がまとまったときは非常に良かったなと感じます。一方の言い分を認めるともう片方は不満に感じてしまうことが多いですが、和解であれば、(100パーセント満足とまではいなくても)お互いに納得する形で解決できます。裁判所が間に入って調整することで、対立していた当事者が今後の関係を含めてうまくいくように手助けできることにやりがいを感じます。

Q

さいばんかん しごと
裁判官はどんな仕事をしていますか。(小3)

A

裁判を起こした人と起こされた人のそれぞれの言い分をよく聞き、中立な立場から、どちらの言い分が正しいのかを判断するのが裁判官の主な仕事です。このため、法廷で裁判をしている以外のときは、裁判官の部屋で、それぞれの言い分の内容を書いてもらった書類を読んだり、契約書などの証拠を見たり、その事件で使われる法律について書かれた本を読んだり、同じような過去の事件の裁判例を調べたりしています。また、3人の裁判官で担当する事件では、3人で事件について議論もしています。そして、そのようにして考えて決めた結論を、最終的に判決としてまとめます。

だい じんじぶ なおかさいばんかん
(第9民事部 長岡裁判官)



Q

さいばんかん しごと いしゃ しごと に
裁判官の仕事はお医者さんの仕事と似ているところはありますか。(小2)

A

お医者さんは体や心のトラブルを、裁判官は社会のトラブルを扱うもので、いずれも人々の困りごとを扱います。また、お医者さんは患者さんの話をよく聞いて、医学の知識を利用して、適切な診断をし、治療を行います。裁判官も、裁判を起こした人と起こされた人の話をよく聞いて、法律の知識を利用して、適切な判断をし、判決を書いたり、間に入って話合いで解決してもらったりします。ですのでトラブルで困っている人の話をよく聞くこと、勉強した知識を応用してトラブルに対する適切な解決を目指していくことが似ていると思います。

だい じんじぶ なおかさいばんかん
(第9民事部 長岡裁判官)

Aさんは、こう
言っていて…

Bさんは、こう
言っていて…



Q

さいばん なに はんだん まよ こま
裁判で何かを判断するときに迷ったり困ったりすることはありますか。(小4)

A

はんだん 判断するときは迷ったり困ったりすることばかりです。わたし たんとう さいばん 自分が担当している裁判は、どちらが正しいのか 判断することが難しい裁判ばかりで、毎日悩みは尽きません。むしろ裁判官の仕事というのは、争っている人の言い分を聞いて、迷い、悩むことといえるかもしれません。

それでも、裁判所には、一緒に裁判を担当してくれる書記官や、悩みを共有し相談に乗ってくれる他の裁判官がいます。そうした方がた協力してやっていくことが裁判官の仕事の醍醐味でもありますし、裁判が難しい分だけ、それを整理して、納得できる解決ができたときの喜びは大きいものだと思います。

だい 4 民事部 たかはたさいばんかん
(第4民事部 高畑裁判官)



しっこうゆうよ なに
【コラム】執行猶予って何？(小2)



ひこくにん けいむしょ い しゃかい なか せいかつ 被告人が、刑務所に行くよりも、社会の中で生活をしたほうが、更生できる(立ち直れる)と考えられる場合、執行猶予の付いた懲役刑が言い渡されます。この場合、被告人は、すぐには刑務所に行かず、社会の中で仕事をしたり、学校に通ったりしながら、一般の人とほとんど同じように生活します。被告人は、猶予期間内に罪を犯さなければ、そのまま刑務所に行くことはありません。しかし、猶予期間内に新たに罪を犯した場合、執行猶予が取り消され、前に言渡しを受けた執行猶予の付いた刑と新たに犯した罪について言い渡された刑を合わせた期間、刑務所に行くこととなります。ですから、猶予期間内は、犯罪をすることのないよう、特に注意して真面目に生活する必要がある、そのような生活を通じて被告人が立ち直ることが期待されているのです。

だい 5 刑事部 たけうちさいばんかん
(第5刑事部 竹内裁判官)

Q 裁判官の転勤について教えてください。(中1)

裁判官は、全国の各都道府県に転勤する可能性があり、最初のうちは、概ね二、三年に1回の頻度で異動することが多いです。私の場合は、これまで、熊本(3年)→大阪(2年)→横浜(2年)という順に転勤してきました。転勤に関する希望は、必ずそのとおりになるというわけではありませんが、希望する地域や、やりたい仕事の内容等を伝える機会があります。

転勤は大変ではあるものの、全国各地で様々な文化や歴史に触れたり、いわゆるご当地グルメを堪能したりすることもできるので、裁判官の仕事の楽しみの一つでもあります。

(第1民事部 寺田裁判官)

Q 中高生でもあまり無理せず、法律や裁判について知ることができるオススメの本など教えてください。(高1)

色々な裁判官から
おすすめを聞いてきたよ☆



○おすすめの本

- ・**こども六法**(弘文堂)…子ども向けの法律書。
- ・**日本の裁判がわかる本**(日本文芸社)…弁護士、検察官、裁判官の仕事内容を分かりやすく解説した本。人気ゲーム「逆転裁判」のキャラが登場する。
- ・**高校生からの法学入門**(中央大学出版部)…高校生にも身近に感じられる話題をもとに法を分かりやすく解説した本。
- ・**裁判の非情と人情**(原田國男・著)…元東京高裁判事が裁判について書いた本。
- ・**事件**(大岡昇平・著)…昭和30年代の神奈川県を舞台にした少年による殺人事件の審理についての推理小説。
- ・**てのひらのメモ**(夏樹静子・著)…補充裁判員に選ばれた主婦を主人公とした小説。
- ・**家裁の人**(小学館)…家庭裁判所の裁判官が主人公で、少年事件や家事事件を中心に描かれた漫画。
- ・**イチケイのカラス**(講談社)…刑事事件を担当する裁判官を主人公とした漫画。2021年4月からドラマも放送開始予定。

○おすすめの映画

- ・**RBG 最強の85才**…アメリカの女性最高裁判事の人生などを描いた映画。
- ・**十二人の怒れる男**…アメリカの陪審制度の長所と短所が分かる映画。
- ・**それでもボクはやってない**…痴漢事件を題材に日本の刑事裁判を描いた映画。
- ・**いとこのビニー**…アメリカの裁判を描いたコメディ映画。

○おすすめのドラマ

- ・**ジャッジ～島の裁判官奮闘記～**
- ・**リーガル・ハイ**
- ・**SUITS**